

ケガはどこに多いのか？

全体

2019年	2018年
139	145

右側

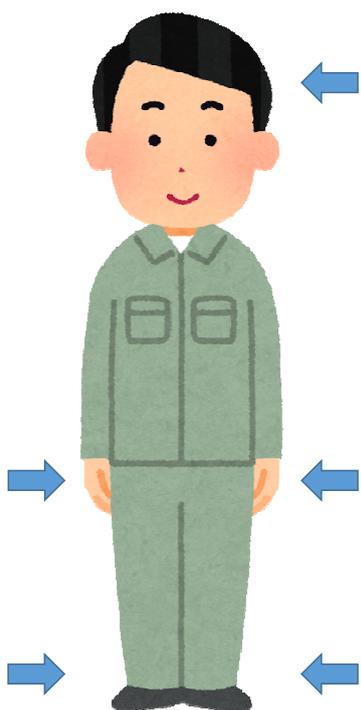
2019年	2018年
46 (33.1%)	48 (33.1%)

右手指

2019年	2018年
29 (20.9%)	28 (19.3%)

右足

2019年	2018年
7 (5.0%)	11 (7.6%)



頭・顔

2019年	2018年
19 (13.7%)	18 (12.4%)

左側

2019年	2018年
52 (37.4%)	47 (32.4%)

左手指

2019年	2018年
32 (23.0%)	36 (24.8%)

左足

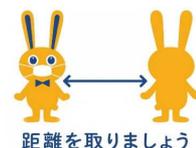
2019年	2018年
11 (7.9%)	9 (6.2%)

左の数字は住重労連内企業の災害報告における、「傷病名」に記載された左右に関する調査です。

過去に調査した際は、左側が若干多く、一般には「利き腕で作業をしていると、とっさの際や添えている、反対の手を被災する傾向がある」と言われていました。実際、直近の過去2年間においても、左右の差は、手指に関して見て取れます。

また、頭・顔における被災も多く、目にまつわる傷病名も少なくありません。

作業に気を配るだけでなく、自分の作業姿勢を客観的に誰かに見てもらい、注意するポイントを意識しましょう！



参考資料



製造業向け 未熟練労働者に対する安全衛生教育マニュアル
平成27年 厚生労働省委託事業
<https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11300000-Roudoukijunkyokuanzeniseibu/0000118568.pdf>



高齢労働者に配慮した職場改善マニュアル
<https://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/gyousei/anzen/dl/0903-1a.pdf>

